

# システム開発・研究の体制

## 研究立案（ePROワークフロー設計）・データ収集（患者診療）

四国がんセンター（整形外科）  
 愛媛大学（整形外科）  
 四国こどもとおとなの医療センター  
 （疼痛医療センター）  
 香川大学（整形外科）  
 高知医療センター（整形外科）  
 高知大学（整形外科）



## オンラインシステム・アプリ開発

(株)アクセライト



産学連携

研究事務局

徳島大学（整形外科）

徳島大学（情報センター）

四国がんセンター（臨床疫学研究室）  
 千葉大学病院（臨床試験部）

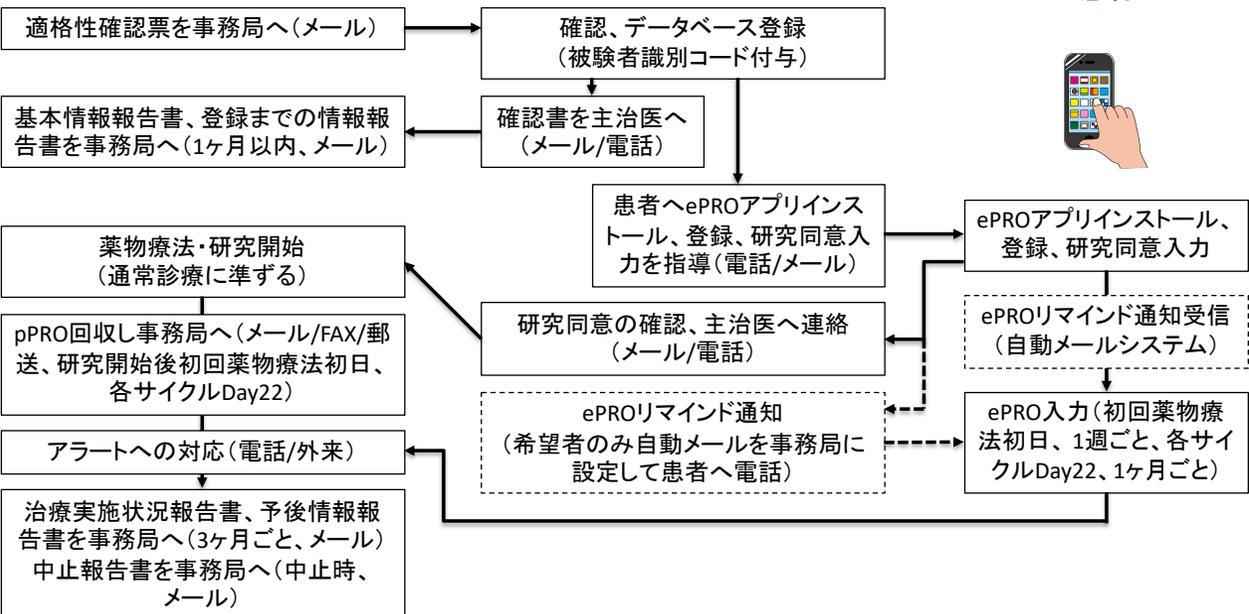
データ精製・統計解析

## ePRO研究のワークフロー

各施設主治医

事務局

患者



## 薬物療法施行中の進行期軟部肉腫に対するePROモニタリング研究（患者QoLの観点から）

背景・問題点

- ✓ 軟部肉腫におけるQoL測定的重要性
- ✓ 数週間に1度の診察では適切な評価ができない（薬物療法、進行期）
- ✓ Under-reportingの事実



研究目的

症状・QoLモニタリングの妥当性・信頼性・実現性検証

得られる成果

- 患者の状態の変化をより早期に捉え、必要な介入（治療の変更、緩和支持療法）を早期に実施
- 原病とは関連のない重篤な併存症への対応も可能
- 緩和療法への移行が速やかで、無意味な治療継続が減少
- 患者QoLの向上